

数千のウクライナ市民が、自分自身の政府によって連行されている

「裏切り者」の名のもとに

<https://www.infowars.com/posts/thousands-of-ukrainian-citizens-rounded-up-by-their-own-government-labeled-traitors/>

Kelen McBreen

May 2, 2022

⇒ゼレンスキーの戒厳令が、政治的異論者を投獄するのに使われる。

ウクライナ市民たちが、最近の戦争で「ロシアを応援している」と糾弾され、ウクライナ安全保障局（SBU）によって、自宅から引きずり出されている。

AP 通信によれば、400 人近い市民たちが、ハリコフ地域だけで逮捕されている。

<https://www.pbs.org/newshour/politics/ukraine-cracks-down-on-traitors-helping-russian-troops>

これは、数千人のウクライナ人が、「裏切り者」として投獄されていることを意味しており、彼らはそこで最高 15 年の刑を食らっているが、拘留者の正確な数は「極秘」とされている。

告発されている市民には「ロシア軍と協力した」者がいると思われるが、他の逮捕される行動には「ロシアの侵略を公然と否定し、モスクワを支持する」ことが含まれている。

そのように、誰でもウクライナに住む者で、ロシア寄りの政治姿勢を示す者は、致命的な戦争が戸口に近づくにつれて、監獄に投げ込まれると思われる。

下のビデオでは、アメリカのビデオは、「裏切り者」が放り出されるよう奨励している。

SBU によって逮捕された一人の男性は、「ロシア大統領を賞賛する社会メディアの記事をもって、分離を主張し、ウクライナ国旗を侮辱したと」と言われた。

この武装した憲兵たちは、この男性のアパートに坐り込み、彼の社会メディア投稿記事の画面を示し、彼が「ウクライナ国旗について、よく言っていない」と言っている。

この震えている市民は、武装した者たちに対し、彼が考えを変えたのに、逮捕するのかと言っている。

ウクライナのゼレンスキー大統領が、ロシアの2月24日の侵攻後ただちに発令した「反協力法」の下で、どんな市民も、間違った政治見解をもった者は、今、攻撃されている。

ゼレンスキーは人民にこう話した——「協力の責任ということが不可欠だ。そして、それが明日の話だろうと明後日の話だろうと別の問題だ。最も重要なことは、正義は不可避免的に問われるということだ。」

APが報道するように、「ゼレンスキー政府は広く支持されているが、ロシア語を話す人々の多くの間でさえ、すべてのウクライナ人が、この侵略に反対しているわけではない。モスクワ支持の態度は、東の工業地区、ドンバスの、ロシア語を話す居住地域のいくつかで、より普通に見られる。モスクワに支援された分離派と、ウクライナ政府軍の間の、8年間に及ぶ紛争は、1万4000人以上の死者を出している——今年の侵略より前でさえ。」

AP通信はこう認めてさえした——「戒厳令の下で、官憲は、11の親ロシア政党を違法とし、その最大のものは、450議席のうち25議席を占めていた。これは Opposition Platform For Life で、ビクトル・メドヴェージェフの創設したもので、プーチンと密接につながったオリガルヒだったが、今は投獄されている。

.....

ビデオ：ペンタゴンの報道官が、ウクライナについて話しながら、声を詰まらせる

<https://www.infowars.com/posts/video-pentagon-spokesman-chokes-up-while-talking-about-ukraine/>

Infowars.com
April 30, 2022

⇒「私はこういう所を見せたくない」と、ペンタゴン報道官 John Kirby は、泣きながら言った。

⇒これはペンタゴンの「保育器の赤子」状態を見せるものか？

ペンタゴンの報道官ジョン・カービーは、金曜日、ロシア大統領ウラジミール・プーチンは、ウクライナ紛争において「理性的に行動している」のかと訊ねられ、涙もろい様子を見せた。

「彼がウクライナで何をしているのか、彼の軍隊が何をしているのかを見て、いったい倫理や道徳をもつ人間が、こんなことをして許されると考えているとは、思えないのだ」と、カービーは言い、声を詰まらせ、一瞬、沈黙する様子を見せた。

「その映像のいくつかを見て、ちゃんと物を考え、真面目な、成熟したリーダーが、それをやっているとは考えられない。だから彼の心理について話すことはできない。しかし彼の墮落性については、あらゆる人が話せると思う」とカービーは言った。

カービーは後に、自分が感情的になったことを詫び、「私は自分のこんな所を見せたくない」と言った。

彼はまた、プーチンのウクライナ侵略を BS (bullshit、クソ) と性格づけた。

「プーチンの BS を、これはウクライナのナチズムだとか、ウクライナでロシア人を保護しているとか、ロシアの国益を守っているのだとか、理屈をつけることはできない。彼らの誰一人として、誰一人として、ウクライナによって脅迫されている者はいないのだから」と、カービーは言った。

カービーの独白から見事に抜け落ちているのは、ロシア軍、あるいはドンバス地域の人民に対して犯されている、ウクライナの記録された戦争犯罪が、一言も述べられていないことである。<https://www.infowars.com/posts/top-former-nato-analyst-government-backed-genocide-in-donbas-sparked-war-in-ukraine/>

例えば、社会メディアに広く知れ渡った身の毛もよだつビデオには、ウクライナ兵たちが、捕虜になったロシア軍の鼠径部（内股）を狙い撃ちしている、残虐行為が示されている。<https://www.theguardian.com/world/2022/apr/07/video-appears-to-show-ukrainian-soldiers-shooting-russian-prisoners-of-war>

ロシア軍がウクライナ兵に向って、同じような残虐行為を犯しているビデオは、存在していない。なぜなら、もし彼らがそんなことをしたら、その全部が西側のメディアで見られるだろう。

実際、今月初めに、ブチャでロシアが犯したと言われる、残虐行為の一例は、ニセ旗作戦のすべての証拠を示している。なぜなら、ウクライナの兵士たちは、「大虐殺」と言われるものが起こった前の日に、ウクライナ兵士たちがその周辺から、ロシア人たちを片付けているからである。

<https://www.infowars.com/posts/russia-claims-bucha-massacre-is-a-false-flag-as-u-s-media-calls-for-direct-military-involvement-in-conflict/>

<https://www.infowars.com/posts/ukrainian-police-said-they-conducted-clearing-op-in-bucha-a-day-before-dead-body-videos-emerged/>

プーチンの「理性的行動」については、ロシア大統領は繰り返し、ロシアの動機と国家的安全の優先性を強調して、旧ソ連国家が、ウクライナで軍事行動をしているのは、それに要求されたものであり、最も重要なのは、ウクライナが NATO 加盟国になるという懸念なのだとやっている。

<https://www.infowars.com/posts/putin-speech-russia-had-no-other-option-but-to-launch-ukraine-invasion-because-west-deceived-us-about-nato-expansion/>

<https://www.infowars.com/posts/putin-ukraine-has-become-a-puppet-regime-of-nato-the-west/>

〔訳者 Greatchain 注〕

日本政府も NHK も新聞も、このペンタゴンの報道官のように、「ロシアの残虐」に声を詰まらせ、非人間性を訴えながら、その逆が起こっている可能性などあり得ないという前提で、報道や解釈を進めている。真実が徐々に明らかになってきたとき、我々が得をすることはありえない。日本人全体が、浅知恵のバイデン党で、ファシズムに傾く国だという評価が、海外から返ってくるだろう。この国民的悪印象を取り除くためには、相当の時間がかかるものと考えねばならないだろう。